

南三陸 復興まちづくり通信

第24号（平成28年6月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

志津川魚市場完成 落成式

震災で被災した南三陸町地方卸売市場が完成し、6月1日、落成式が行われました。式にはおよそ150人が出席。佐藤仁町長が「水産物の品質向上とブランド化を進め、町を活性化する」と挨拶。テープカットなどで完成を祝いました。新市場は高度衛生管理型施設となり、水産物の高付加価値化が期待されます。総工費は約24億円です。



歌津地区神社社務所 高台に移転

震災で被災した歌津地区17行政区の神社を統括する「歌津地区神社社務所」が高台に再建され、5月3日に落成式が行われました。式には地域住民らおよそ100人が出席。伊里前契約会が獅子舞（＝写真）を披露し、完成を祝いました。

新しい社務所は伊里前地区の高台移転団地の近くで、広さは約80㎡。建設費約2,400万円は地区の氏子や契約会からの浄財で賄われました。



花の植栽で親睦深める 柘沢団地で交流事業

4月に宅地が引き渡されたばかりの歌津伊里前地区の高台移転「柘沢団地」の入居者が5月29日、造成地内の2つの公園に草花の植栽を行いました。新しい団地でのコミュニティづくりのきっかけにと企画されたもので、22人が参加。歌津公民館から提供されたマリーゴールドやサルビアなどの苗350株を植えました。復興みなさん会のメンバーもお手伝いをさせていただきました。この活動には大阪コミュニティ財団からの助成金が充てられています。



志津川に板倉のカフェ 7月オープン!

南三陸産材を活用した住宅建設を推進する「南三陸木の家づくり互助会」(小野寺寛会長)による、6軒目となる本格的な板倉の家が7月初旬に完成します。建物は国道398号沿いのJA南三陸そばの「コミュニティ・カフェ COMMONS~こもんず~」(内海明美店長)で、ランチがメインですが、夜はお酒も楽しめます。2階には、子どもから大人までミーティングや音楽活動に使えるフリースペースがあり、月に数回はライブが行われる予定です。



(7月初旬オープンの「コミュニティ・カフェ COMMONS」)



(椿のお茶会の様子=戸倉復興公営住宅集会所)

入居者集い楽しく交流

～戸倉・伊里前の公営住宅でお茶会～

震災で被災した住民が暮らす戸倉復興公営住宅(80戸)と伊里前復興公営住宅(60戸)で、復興みなさんが主催する「椿のお茶会」が開かれました。5月23日にあった戸倉でのお茶会には、入居者15人が参加。昔懐かしいバナナ焼きと椿茶をいただきながら、自己紹介や震災前の思い出話をして交流を深めました。この日は役場の公営住宅の担当者や社協のLSAも参加。暮らしてみてもの感想や、困りごとについて丁寧に聞き取りを行いました。

復興公営住宅におけるコミュニティづくり学ぶ ～東北学院大を会場に公開研究会～

東北学院大学土樋キャンパスで5月19日、「災害復興公営住宅におけるコミュニティづくり研究会」が開催されました。同大とトヨタ財団が共催したもので、県内の社協関係者、研究者、自治体職員、NPOメンバーなどおよそ70人が出席。トヨタ財団が支援を行っている被災3県の5団体が、「自立に向けて、どのように入居者の力を引出し、コミュニティづくりに関わる人の層を厚くするか」をテーマに取り組みを発表しました。



(復興みなさん会のプレゼンテーションの様子)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

大阪コミュニティ財団「東日本大震災及び原発災害からの復旧・復興活動等支援基金」助成事業